

第2学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
教科書	中学生の音楽 2・3 上(教育芸術社)、中学生の器楽 (教育芸術社)
副教材等	キミウタ 2 訂版 (教育芸術社) アルトリコーダー

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト (演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート 		

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の約束 (音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など) を理解して、それらを生かして音楽の活動 (歌唱、器楽、創作、鑑賞) に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現 (演奏) ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声 (音) だけでなく周りの声 (音) をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと (感想) を書きましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けよう。 ・授業等で興味をもった曲は、作曲家、音楽の特徴やその拝見となる文化や歴史を自分で調べてみよう。

4 題材・目標等について

学期	題材	題材の目標	教材
1 学 期	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・曲想の変化を感じ取って、響のある声で合唱しよう。	明日を向いて
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	・パートの役割を理解して合唱しよう。	翼をください
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	フーガト短調
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 ・歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。	夏の思い出(共通教材)
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	合唱コンクールの曲
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	交響曲第5番 ハ短調
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 ・歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。	荒城の月(共通教材)
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	・言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。	My Melody
3 学 期	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	・運指に気をつけながら、弾き方を工夫しよう。	箏曲「さくらさくら」
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	・オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	「アイダ」から
	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	・歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。	歌舞伎「勧進帳」
	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	卒業式 式歌 「旅立ちの日に」 国歌「君が代」・校歌